



これまでの努力や貢献に対し表彰

総社市奨励賞・総社市優良農業者表彰

すぐれた研究や活動をした岡山県立大学の学生を表彰する「総社市奨励賞」。表彰式は2月18日、総社市役所で行われ、中村智也さん(保健福祉学部)、難波寛和さん(情報工学部)、今雪るりさん(デザイン学部)の3人に、市長から賞状と副賞が授与されました。

2月25日には、農業振興に多大な貢献をされた人と団体の表彰式を市長室で行い、市長が表彰状と記念品を手渡しました。

表彰されたのは、原営農組合(東守組合長)、きよね有機の郷(香西達夫会長)、上田一さん(新本)の2団体1個人です。

総社市優良農業者として表彰される皆さん(写真左)。左から、きよね有機の郷の下野間静江さん、上田一さん、守谷屹さん(この表彰の創設者)、原営農組合の横山武さんと東守組合長、きよね有機の郷の大熊公平さん。総社市奨励賞で表彰された岡山県立大学生(写真右)。左から、中村智也さん、難波寛和さん、今雪るりさん



ワークショップで話し合いをする参加者。また、公園に掲示する常盤公園の表示は「ときわ公園」となり、親しみや分かりやすさ、ゆうあいを基にロゴがデザインされることに決まった

自主防災組織の必要性を認識

常盤公園ワークショップ

防災公園として三輪地内で整備が進んでいる常盤公園のワークショップが2月28日、サンワーク総社で開かれました。

進行役の岡山県立大学の熊澤・斎藤両講師らが制作した自主防災組織づくりを学ぶDVD。参加した地元住民ら約30人は、このDVDに登場するキャラクター「タンちゃん」の案内で、大規模な災害発生時に、住民は何を公共機関は何をするかを話し合いをしました。ワークショップ終了後には、「自主防災組織の必要性が分かった」との声も聞かれました。【25号に関連記事】

ミニフォト

国際交流の協定を締結



ブラジル人学校「エスコラ・モモタロウ・オカヤマ」を運営するNPO法人ももたらう海外友好協会は、倉敷高校と、総社市役所で「国際交流に関する協定」に調印。両者は、「今後、多文化共生教育で交流を深めたい」と話しました。

北村良子さん100歳



北村良子さん(岡谷)が2月21日、満100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。北村さんの楽しみは、自分で作った野菜を近所に配ること。長寿の秘訣は、「悩みをもたず、感謝の気持ちを持ちを忘れないこと」だそうです。

原田キクヨさん100歳



2月15日に満100歳の誕生日を迎えられた原田キクヨさん(新本)に2月26日、県と市から記念品が贈られました。息子夫婦が良くしてくれるという原田さんの長寿の秘訣は、「長年、体を動かしてきたこと」と教えてくれました。

初日に97件の申請

市の緊急経済対策・三菱車の新車購入助成

急激な景気悪化に伴う市の緊急経済対策の一つ、三菱自動車工業製の新車購入に10万円を助成する申請の受け付けが3月2日、スタート。受付窓口である商工観光課の窓口で、午前8時30分には、約20人が並びました。初日の受付総数は97件。3月13日までに、募集枠の約9割にあたる187件の申請がありました。

この支援に対し感謝の気持ちとして、協同組合ウイングバレイの関係者約70人が3月2日と9日、総社小学校など15か所の市の施設で、遊具のペンキの塗り替えや事務の補助などのボランティア活動を行いました。



商工観光課の窓口で助成の申請手続きをする皆さん(写真上)。総社小学校の遊具を塗装し直す、ウイングバレイの皆さん(写真下)



Photo News



大型紙芝居を楽しむ親子連れら

お話の世界を楽しむ

お話しっばい子どもの広場

読み聞かせボランティアグループの集まり「ドリームブックネット総社」主催のお話しっばい子どもの広場が2月21日、清音福祉センターで開かれました。

読み聞かせボランティアグループ8団体と市図書館が、大型紙芝居や人形劇など10の演目を披露。約300人の親子連れらが訪れ、子どもたちは絵や人形をじっくり見つめ、お話の世界を楽しんでいました。